

ヒロオビミドリシジミ日高町上ノ郷で採集される 木下賢司*

1979年6月19日、城崎郡日高町上ノ郷で、会員の小崎茂樹氏によって、ヒロオビミドリシジミ(*Favonius latifasciatus* SHIRÔZU et HAYASHI) が採集されたので、氏に代ってここに報告する。本種の日高町での記録は、会員の高田忠彦氏の日高町務本(高田・井出, 1978)があるが、上ノ郷での記録は初めてであり、新産地と思われる。

当日は曇り、同地へは、ウラジロミドリシジミ採集の目的で、小崎氏と二人で訪れたものである。同地は海拔100メートル前後の谷間で、河を挟んで斜面は、スギヤヒノキが植林され、道沿いの所々にクヌギ、コナラ、クリに混って、ナラガシワの木もかなり見られた。

採集された蝶は、午後3時過ぎ、河に張り出した10メートルほどのナラガシワの木を叩いた時に、数頭のウラジロミドリシジミと共に飛び出したもので、二人で何度も木を叩いても他へ移ることはなく、稍付近をグルグルと回り、又元のところへ止ることを繰り返し、やっと少し降りたところを、小崎氏が採集されたものである。このことから、同種はかなり食樹に対する執着性が強いように思われた。なお、同じ日に採集した日高町務本産のものとは、大きさ、色彩等に目立つ違いはみられない。

本種の但馬での記録は、他に、美方郡温泉町相岡、養父郡八鹿町小佐、朝来郡和田山町野村、同朝来町土肥、出石郡出石町横見が知られているが(高田・井出, 1978)、ナラガシワの林は小規模ながら豊岡周辺をはじめ出石方面にもかなり見られるので、今後の調査が楽しみである。

なお、同日上ノ郷では、本種の他に、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミが普通に見られた。

参考文献

高田忠彦・井出敏晴, 1978. 兵庫県産蝶類調査報告〔1〕. シジミチョウ科(その1). MDK NEWS. 28(79)